

園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども



クラスの保育目標

- ・外に出て、心地よい空気を感じながら全身を使って遊ぶ。
- ・保育者に甘えや欲求を受けとめてもらい、安全に自己主張をする。
- ・散歩を通して秋の自然に触れながら様々な言葉を知る。



室内活動

室内活動の幅も広がり、マットや滑り台など様々な活動に挑戦するみんな。少し高さのあるマットも以前はつかまり立ちなどで周りを見たりしていましたが、今は足腰の筋力もつき、足をあげて登ろう！とする子どもも多くなります。できることが広がり、達成感に溢れた笑顔や、やってみよう！と試行錯誤しながらチャレンジする姿などいろいろな子どもたちの姿も見られています。

水遊び

残暑が続き、9月も引き続き水遊びを楽しむことができましたね。水遊びを始めて数か月が経ち、初めは水遊びをする姿も涙…の姿もありましたが今では、お水が頭にかかっても、にこにこ楽しい表情！水しぶきをあげながら思いきり楽しむ姿に成長を感じています！暑さも和らぎ、お散歩に行ける日も増えてきますね～！夏前のお散歩の姿とは違った子どもたちの姿がとても楽しみです！久しぶりのお散歩で体力も使うと思いますので、午睡などで休息もしっかり取りながら、子どもたちのペースに合わせて過ごしていきたいと思っています。

健康

残暑が続き、夏の疲れも出てきているからか、いつもより早めの時間に眠そうな姿が見られたり、疲れが見られる子どもが増えてきています。午睡時間を子どもたちの様子に合わせて、早めに布団に入ったりと休息も取りながら過ごしています。これから少しずつ暑さもやわらぎ、朝晩の寒暖差なども出てくる頃かと思しますので、衣服などで調節しながら子どもたちが元気に過ごせるように見守っていきます。

かみつき、ひっかきについて

子どもに自我が芽生えてくると、かみつきや引っかきが見られることがあります。「それぼくの」「ほしいな、それ」「わたし、やだ」…こういった気持ちがあっても、まだ言葉にはならない子どもたちは、動作でしか表すことができません。その為、かみついたり、ひっかいたりという行動が生まれます。これは成長発達の一つの特徴です。自分の思いを表す手段であり誰かを傷つけようという気持ちは子どもたちにはありません。園では、子どもたちの思いを受け入れたうえで、思いを言葉にして伝えられるように関わっています。そうすることで、子ども自身が自分の思いに合った言葉を知り、徐々に伝えられるように、なりかみつきや引っかきも減っていきます。園でもケガに繋がらないように気をつけてみっていますが、子どもたちがこのような発達段階を経てお友達との関わりを知り、互いに成長していくことを保護者の方にもご理解いただくと幸いです。また、互いにこのような発達をたどって成長していくことを踏まえ、相手のお子さんの名前はお伝えしないこととさせていただいております。ご了承のほどお願いいたします。また、手があたり引っかきの原因にもなりますので引き続き爪の長さの確認をこまめをお願いいたします。

食事

みんなの大好きな給食の時間！手づかみ食べやスプーンを使うのも上手になり取り分け皿を使い、お皿から自分でばくり！！手先も器用になり、つまむ動きも上手になってきていて、自分で食べることを楽しんでます。お茶をコップで飲むことも挑戦していて、だんだんと上手になってきています！

感染症情報

鼻水、咳などの症状があるお子様も多くなります。また、茅ヶ崎市内の小学校などではインフルエンザも流行っているようです。

